

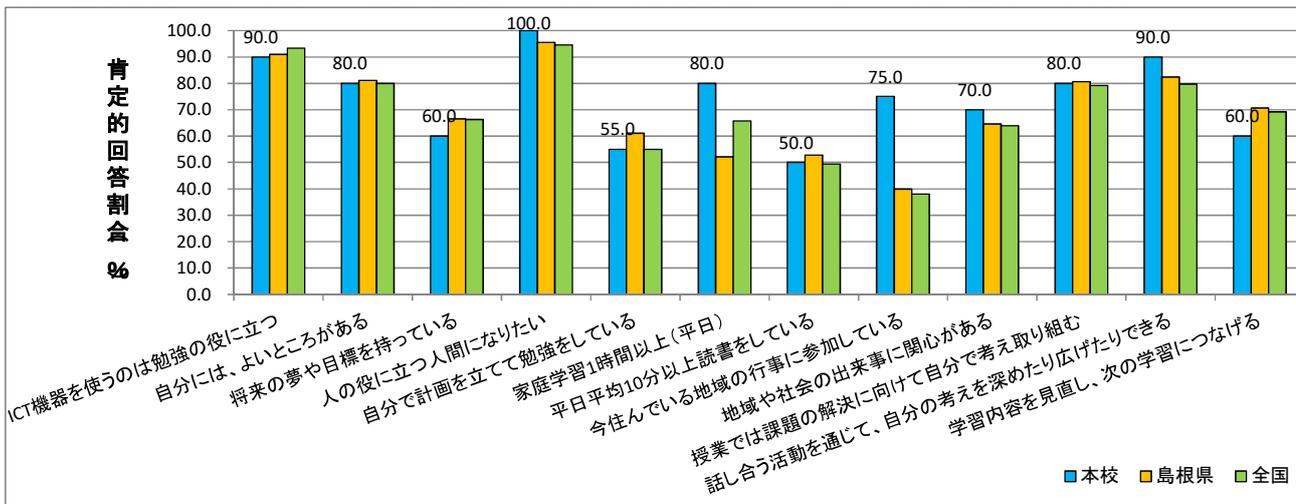
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○全般的に学習の内容は定着しているが、中でも「我が国の言語文化に関する事項」についての理解に優れている。根拠を明確にして書くような記述式の問いに対しても正答率が高く、無答率が低い。 ●情報と情報の関係を正しく捉えて答えること、複数の文章を批判的に読み取り、観点を明確にして表現することに課題がある。	・資料の中の情報を比較してその関連性を捉え、わかったことを基にして考えをまとめ、表現する学習活動を充実させる。 ・複数の文章を比べ、読み取る際の観点を明確にし、気づいたことや考えたことをペアやグループで意見交換し、表現する学習活動を積極的に取り入れる。
数学	○計算する、式を求めるなど、基本的な技能は身につけており、全体として正答率も全国平均を上回っている。 ●関数分野を苦手とする傾向があり、技能の問題はできて、実際の場面に照らし合わせて考察する力が足りない。また、既習事項を活用したり、他の発想を分析したりする問題に課題がある。	・2年生の内容の定着度が低いと思われるため、3年の学習において、授業などで関連の学習内容を押さえていく。 ・学習会の時間を有効に活用し、補充学習に取り組みさせる。
英語	○「聞く」「読む」「書く」の3技能ともにバランスよく力をつけているが、特に「書く」力に強みがあり、正答率が全国平均を大きく上回った。 ●習った英語を使って発信する力として「書く」力が身につけている一方で、「話す」力に課題がある。	・今後も「知識・技能」の定着に力を入れるとともに、文章の要点を捉え、自分の意見やその理由を記述する表現活動に積極的に取り組んでいく。 ・日常的な会話表現だけでなく社会的な話題も取り上げながら、即興のやり取りやスピーチなどを継続して行う。

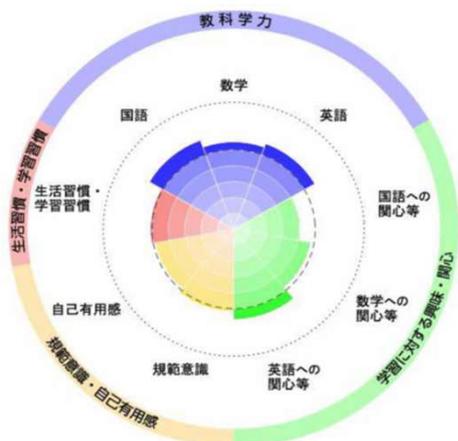
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○学校生活への満足度や友人を大切に思う気持ち、教員への信頼感等の値が高く、周りの人を大切にしながら自分を高めているという生徒が多い。 ●朝食や就寝起床時間、メディア時間などのタイムマネジメントが苦手な生徒が多い。	・各教科領域(保健体育・家庭・学活・進路学習など)の視点から、生活リズムを整えることの大切さについて学ぶ機会を増やすとともに、メディア時間のコントロールやタイムマネジメントが自分のできるような意識づけをする。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・生徒が身につける資質能力を明確にしたねらい設定や振り返りを行い、「わかる」授業づくりに努める。  
・家庭学習と授業が効果的にリンクし、生徒が自分に合った学習方法を見いだすよう指導改善を行う。  
・将来についてより具体的なビジョンをもてるよう、地域で活躍する様々な方を講師として招き、多様な生き方を学ぶ。

【受検者数】  
20 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。